

第106回研究会:平成24年4月6日

1. 沖縄県の肺癌の組織像の変遷について
2. 保健師がイメージする「一人前保健師」への成長
3. 沖縄県2市における3歳児の睡眠習慣と保護者の睡眠に対する意識調査

金城貴夫 (形態病理学)
小笹美子 (地域看護学)
儀間繼子 (小児看護学)

第107回研究会:平成24年5月11日

1. 終末期がん患者の在宅診療を担う医師の認識
～在宅移行と療養支援に焦点を当てて～
2. ヒト糞便細菌による胆汁酸代謝
一胆汁酸7「脱水酸化菌及び7脱水酸化反応機構」

照屋典子 (成人看護学 I)
高嶺房枝 (病原体検査学)

第108回研究会:平成24年6月8日

1. 高齢者虐待防止法施行前後の介護施設職員の高齢者虐待に関する意識と実態
2. 性別による一般的信頼感および近隣信頼感の主観的健康感に及ぼす影響についての検討
3. 沖縄県の高校生における危険行動の推移
2002年～2008年

國吉緑 (老年看護学)
豊里竹彦 (精神看護学)
高倉実 (疫学・健康教育学)

第109回研究会:平成24年7月13日

1. 沖縄県の某事業所におけるカウンセリング件数の推移
(平成11年～23年)と相談内容
2. 看護学生の死生観は年次進行により形成されていくか
3. 80歳以上地域高齢者の同調性性格傾向と心理・社会的要因との関連

加藤種一 (疫学・健康教育学)
古謝安子 (地域看護学)
與古田孝夫 (精神看護学)

第110回研究会:平成24年9月14日

1. 沖縄産薬草 (マンジュロコ、ギムネマ・シルベスタ) の streptozotocin 糖尿マウスに対する抗糖尿作用
2. 学校検尿でみられる血尿症候群
3. 咽頭摘出術体験者の心理社会的適応状況に関する検討

大城吉秀 (形態病理学)
栗田久多佳 (生理機能検査学)
砂川洋子 (成人看護学 I)

第111回研究会:平成24年10月12日

1. ツバキ由来エラグ酸類の抗アレルギー作用 (IL-4・PGD2 産生阻害作用)
2. 妊娠各期の栄養摂取状況・貧血の現状
3. 市街地に生息する蚊の生態 (ウエストナイル熱と関連して)

宮良恵美 (血液検査免疫学)
玉城陽子 (母性看護・助産学)
當間孝子 (国際環境保健学)

第112回研究会:平成24年11月9日

1. ミニトランポリン運動に関する文献考証
2. 原子力発電所の危険性に関する意識調査—沖縄県1大学の調査成績より—

尾尻義彦 (生理機能検査学)
外間登美子 (母子・国際保健学)

第113回研究会:平成24年12月7日

1. 保健師が一人前に成長する過程に関する縦断的研究

當山裕子 (地域看護学)

- | | |
|--------------------------------------|--------------|
| 2. 腸炎ビブリオの鉄獲得系に関する研究 | 中尾浩史 (分子遺伝学) |
| 3. 留学生またはその配偶者が日本で経験した母子看護とニーズに関する研究 | 垣花シゲ (基礎看護学) |

第 114 回研究会:平成 25 年 1 月 11 日

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1. 視力障害者のフットケア | 具志堅美智子 (母子・国際保健学) |
| 2. 孫の育児支援にかかわる祖母の身体活動量と心の健康 | 遠藤由美子 (母性看護・助産学) |
| 3. 沖縄県における ATL の実態解明および緊急被ばく医療の実際 | 福島卓也 (血液免疫検査学) |

第 115 回研究会:平成 25 年 2 月 8 日

- | | |
|-----------------------------------------------|----------------|
| 1. 癌抑制因子 p73 ファミリーに属する DNp73 ; friend or foe? | 田中康春 (生体代謝学) |
| 2. ジメルミ酸の肝ミトコンドリア機能への影響 | 今泉直樹 (分子遺伝学) |
| 3. 観察調査による耳鼻咽喉科外来における医師と看護師の接触感染, 伝播防止対策 | 大湾知子 (成人看護学 I) |

第 116 回研究会:平成 25 年 3 月 8 日

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. “保健室登校” 受け入れをめぐる養護教諭の不安 | 和氣則江 (臨床心理・学校保健学) |
| 2. 保健師が支援するこども虐待事例の特徴 | 小笹美子 (地域看護学) |
| 3. 遺伝看護卒後教育の実践内容 | 辻野久美子 (小児看護学) |

第 117 回研究会:平成 25 年 4 月 12 日

- | | |
|-----------------------------------------|----------------|
| 1. 簡易転倒・転落リスクアセスメントツールの評価者間一致性 | 東恩納美樹 (老年看護学) |
| 2. 大学生の身体像不満足感と心の健康度の関連性についての男女比較に関する研究 | 眞榮城千夏子 (基礎看護学) |
| 3. EBV と HPV の遺伝子共発現による形質転換能の誘導 | 金城貴夫 (形態病理学) |

第 118 回研究会:平成 25 年 5 月 10 日

- | | |
|---------------------------------------------------------------------|---------------|
| 1. Multiplex PCR 法による Cronobacter spp. (Enterobacter sakazakii) の検出 | 宮城和文 (病原体検査学) |
| 2. ガスプラズマによるプリオンやウイルスの不活化効果 | 作道章一 (生体代謝学) |

第 119 回研究会:平成 25 年 6 月 14 日

- | | |
|-------------------------------------------------|----------------|
| 1. 大学生における推奨身体活動量の充足に関連する心理的・環境的要因 | 伊波由美子 (基礎看護学) |
| 2. 生活行動能力を媒介とした在宅高齢者のソーシャルサポートの授受が閉じこもり状況に及ぼす影響 | 與古田孝夫 (精神看護学) |
| 3. 青少年の学校や近隣におけるソーシャル・キャピタルの測定 | 高倉実 (疫学・健康教育学) |

第 120 回研究会:平成 25 年 7 月 12 日

- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 1. 子宮頸部病変の組織切片を用いた Human papilloma virus (HPV) を PCR 法と in situ PCR 法との比較と in situ PCR 法による HPV の検出 | 大城吉秀 (形態病理学) |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|

- | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 2. 小離島で暮らす家族を介護し看取るプロセス
～M-GTA を用いた介護体験の分析～ | 古謝安子 (成人看護学 II) |
| 3. 助産実習における助産ケアの検討
～1 ヶ月健診時の褥婦への調査より～ | 大嶺ふじ子 (母性看護・助産学) |
| 第 121 回研究会:平成 25 年 9 月 13 日 | |
| 1. ひきこもり青年 (統合失調症) に対するカウンセリング
の事例検討 | 加藤種一 (疫学・健康教育学) |
| 2. 地域看護学と公衆衛生看護学の定義 | 宇座美代子 (地域看護学) |
| 3. 学校検尿
3 次検診の問題点と対策 | 栗田久多佳 (生理機能検査学) |
| 第 122 回研究会:平成 25 年 10 月 11 日 | |
| 1. Keys to narrow the implementation gap of the
National School health Policy in Lao PDR | 小林潤 (国際地域保健学) |
| 2. コロラド大学看護学部・大学病院の視察研修報告 | 砂川洋子 (成人看護学 I) |
| 第 123 回研究会:平成 25 年 11 月 8 日 | |
| 1. ○県の介護保険施設における高齢者虐待防止への取り組み | 國吉緑 (老年看護学) |
| 2. 沖縄県 2 市の 3 歳児を持つ親の睡眠に関する行動 | 儀間繼子 (小児看護学) |
| 3. 沖縄県におけるミニトランポリン運動の普及・拡大を目指して | 尾尻義彦 (生理機能検査学) |
| 第 124 回研究会:平成 25 年 12 月 13 日 | |
| 1. 日本人看護学生の異文化感受性に関する研究 | 垣花シゲ (基礎看護学) |
| 2. 沖縄県における aggressive ATL の後方視的解析 | 福島卓也 (血液免疫検査学) |
| 第 125 回研究会:平成 26 年 1 月 10 日 | |
| 1. シミュレーション教育を活用した看護技術支援
～大学関連携事業による新人看護師支援の取り組み～ | 照屋典子 (成人看護学 I) |
| 2. 出生体重と妊娠経過・栄養摂取量との関連 | 玉城陽子 (母性看護・助産学) |
| 3. タイにおけるピロリ菌感染と Asian enigma について | 平井到 (病原体検査学) |
| 第 126 回研究会:平成 26 年 2 月 7 日 | |
| 1. Predictive validity of the fall risk assessment
tool in different follow-up periods in a Japanese
university hospital. | 東恩納美樹 (老年看護学) |
| 2. Cellular angiofibroma における 13q14 の片アレル欠
失、酸化ストレスと FOXO1 の関連について | 金城貴夫 (形態病理学) |
| 3. 看護学生・職員・清掃作業員と共に感染性廃棄物の取り
扱いについて考える | 大湾知子 (成人看護学 I) |
| 第 127 回研究会:平成 26 年 3 月 14 日 | |
| 1. 看護学生の臨床教育を介した 1 型糖尿病発症時のケア
—PAID を用いたアプローチ— | 具志堅美智子 (国際地域保健学) |

2. 看護学生が理想とするワークライフバランス 遠藤由美子 (母性看護・助産学)
3. HPV oncogene の発現とポリ ADP リボース合成亢進 田中康春 (生体代謝学)

第 128 回研究会:平成 26 年 4 月 11 日

1. ラオスチャーンがんじゅー学校・地域歯科保健プロジェクト (JICA) に参加して 和氣則江 (臨床心理・学校保健学)
2. 米国オレゴン州における大学間連携による看護教育 當山裕子 (地域看護学)
3. 紅麹菌の生理活性物質 中尾浩史 (分子遺伝学)

第 129 回研究会:平成 26 年 5 月 9 日

1. 沖縄県における看護師の離職意図に関連する要因 平安名由美子 (基礎看護学)
2. 抗体集積化磁性ナノ粒子を用いたインフルエンザウイルス濃縮法の開発 作道章一 (生体代謝学)
3. 統合失調症患者を抱える家族のユタ (沖縄の伝統的巫者) への相談経験と精神科医療に関する認識および介護負担との関連 與古田孝夫 (精神看護学)

第 130 回研究会:平成 26 年 6 月 13 日

1. 地域高齢者の感覚機能低下による日常生活障害と抑うつ傾向との関連および緩衝要因について 豊里竹彦 (在宅・慢性期看護学)
2. 沖縄県内の環境水からの ESBL 産生菌の検出 宮城和文 (病原体検査学)
3. 「自閉症スペクトラム障がい」に対する看護学生のイメージの変化ー療育ボランティア活動を通してー 辻野久美子 (小児看護学)

第 131 回研究会:平成 26 年 8 月 1 日

1. 抗骨粗鬆症微量元素を投与した糖尿病マウスの腎臓の組織・形態学的及び生化学的検討 大城吉秀 (形態病理学)
2. 看護学生の死生観の縦断的観察と臨地実習における終末期患者受け持ち経験プロセスとの関連 古謝安子 (在宅・慢性期看護学)
3. 授業科目『フィジカルアセスメント』におけるシミュレーション教育の導入 眞榮城千夏子 (基礎看護学)

第 132 回研究会:平成 26 年 10 月 10 日

1. 沖縄県の高校生における危険行動の推移 2002 年～2012 年 高倉実 (疫学・健康教育学)
2. 沖縄県の助産師育成の歴史と現状 大嶺ふじ子 (母性看護・助産学)
3. 沖縄県 2 市の家族計画実態調査からみるー母親の育児認識と夫の育児協力ー 儀間繼子 (小児看護学)

第 133 回研究会:平成 26 年 11 月 14 日

1. コネチカット留学体験記 今泉直樹 (分子遺伝学)

第 134 回研究会:平成 26 年 12 月 12 日

1. 新任保健師の 3 年間のコンピテンシーの変化～沖縄県 A 市新任保健師人材育成事業～ 宇座美代子 (地域看護学)
2. 妊婦の身体的・生理的特性および栄養摂取と出生体重との関連 玉城陽子 (母性看護・助産学)

3. ミニトランポリンを利用したエクササイズの筋電図評価
尾尻義彦 (生理機能検査学)
- 第 135 回研究会:平成 27 年 1 月 9 日
1. 大学生の高齢者虐待に関する意識調査
國吉緑 (老年看護学)
 2. 新人看護師の看護技術支援プログラムの検討
照屋典子 (成人看護学 I)
 3. 学校検尿でみる小児糖尿病
栗田久多佳 (生理機能検査学)
- 第 136 回研究会:平成 27 年 2 月 6 日
1. 「うつ病患者」に対するカウンセリングの事例検討
一服薬を中断し再発した男性 (30 歳代) 一
加藤種一 (疫学・健康教育学)
 2. Oregon Consortium for Nursing Education (OCNE) 視
砂川洋子 (成人看護学 I)
察報告
- 第 137 回研究会:平成 27 年 3 月 6 日
1. Comparison of falls between adult and older
inpatients in a Japanese university hospital
東恩納美樹 (老年看護学)
 2. 脳死下臓器提供に関する看護師の態度と関連要因
-0 県の臓器提供施設標榜病院における質問紙調一
垣花シゲ (基礎看護学)
- 第 138 回研究会:平成 27 年 4 月 1 日
1. 自治会地域住民から発信の防災と感染症対策
大湾知子 (成人・がん看護学)
 2. フィリピンの学校保健と災害対策における政策策定と実
施におけるギャップ分析と、アジア地域のオピニオンペ
ーパー作成
小林潤 (国際地域保健学)
 3. AIDS 関連型カポジ肉腫と古典型カポジ肉腫における
Kaposi's Sarcoma-Associated Herpesvirus (KSHV) K1
遺伝子機能の比較
金城貴夫 (形態病理学)
- 第 139 回研究会:平成 27 年 5 月 13 日
1. 臨床看護師の看護研究実施上の困難感と実践力自己評
価、研究支援ニーズ
遠藤由美子 (母性看護・助産学)
 2. Patients' Opinions Regarding CGMS for self-control
in Diabetes
具志堅美智子 (国際地域保健学)
 3. 沖縄県立病院における ESBL 産生菌と ESBL 遺伝子の分布
状況
平井到 (病原体検査学)
- 第 140 回研究会:平成 27 年 6 月 3 日
1. 田芋の水溶性食物繊維が免疫細胞に及ぼす影響
宮良恵美 (血液検査免疫学)
 2. R 大学生の飲酒行動と飲酒の“適量”認知の現状
和氣則江 (臨床心理・学校保健学)
 3. p53 を抑制する Δ Np73a のもう一つの顔
田中康春 (生体代謝学)
- 第 141 回研究会:平成 27 年 7 月 1 日
1. 看護師の離職とワークライフバランスとの関連
豊里竹彦 (在宅・慢性期看護学)

2. 沖縄県の保健師現任教育の現状
3. 沖縄県 ATL の現状

當山裕子（地域看護学）
福島卓也（血液免疫検査学）

第 142 回研究会：平成 27 年 8 月 5 日

1. 沖縄県内の環境水中の ESBL 産生菌の分布と衛生指標菌との関連
2. キャリア中期看護師の臨床実践力と組織風土の関連

宮城和文（病原体検査学）
眞榮城千夏子（基礎看護学）

第 143 回研究会：平成 27 年 10 月 7 日

1. 窒素ガスプラズマによる毒素の分解
2. 特別支援学校卒業生の就職の実態～障害者就業・生活支援センターとの関わり
3. 新任期保健師のこども虐待の研修受講とこども虐待への対応との関連

作道章一（生体代謝学）
儀間繼子（小児看護学）
外間知香子（地域看護学）

第 144 回研究会：平成 27 年 11 月 4 日

1. 小離島で暮らす家族を介護し看取るプロセス
2. 腸炎ビブリオの鉄獲得受容体遺伝子の解析
3. SST (Social Skills Training) を活用した統合失調症患者家族の心的外傷に及ぼす介入効果の検証

古謝安子（在宅・慢性期看護学）
中尾浩史（分子遺伝学）
高原美鈴（精神看護学）

第 145 回研究会：平成 27 年 11 月 4 日

1. 高校生の構造的ソーシャル・キャピタル（組織活動参加）が喫煙・飲酒行動に及ぼす文脈効果
2. 沖縄県における発達障がい看護の実態

高倉実（疫学・健康教育学）
辻野久美子（小児看護学）

第 146 回研究会：平成 28 年 1 月 6 日

1. 円形ミニトランポリンによる身体運動の可能性
2. 保健学研究科での助産師教育課程構想
3. 沖縄県介護保険施設における高齢者虐待防止への課題

尾尻義彦（生理機能検査学）
大嶺ふじ子（母性看護・助産学）
國吉緑（老年看護学）

第 147 回研究会：平成 28 年 2 月 3 日

1. 沖縄県の学校検尿
3 次検診受診率向上への取り組み
2. 出生体重と妊娠期の母体の身体的特性・栄養摂取量との関連－在胎期間別出生体重標準値パーセンタイルを用いて－

栗田久多佳（生理機能検査学）
玉城陽子（母性看護・助産学）

第 148 回研究会：平成 28 年 3 月 2 日

1. 「がん看護エキスパートナース養成コース」修了後の看護師の変化－修了生のアンケート調査結果から－
2. 沖縄県の某事業所における 17 年間（H11～27 年）のカウンセリング活動と相談内容

照屋典子（成人・がん看護学）
加藤種一（疫学・健康教育学）